

富士総合火力演習見学を支援



富士総合火力演習

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）は、8月24日（日）、陸上自衛隊東富士演習場で行われた「富士総合火力演習」における横浜中央募集案内所自衛官募集相談委員会会長（陸上幕僚長招待）の見学を支援した。

この演習は、昭和36年より富士学校の学生教育の一環として、各種火器・火力の効果と様相を認識させるために開始され、昭和41年から一般公開が行われているが、この日の見学を終えた会長は、「すばらしい演習を見学し、日頃の訓練の成果と自衛隊の様々な能力について理解を深めることができ、大変感動しました」と感想を語り、今回の演習見学に大満足の様子であった。

横浜中央募集案内所は、「今後も募集相談委員会との連携を強化し、より多くの方々に国防の重要性を認識していただくよう適進していきたい」としている。

9月入隊予定者に対しエアパーク見学



エアパーク見学



神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長、酒井一海尉）は、8月27日（水）、入隊予定者2名及び受験予定者1名に対し、航空自衛隊浜松資料館・エアパークの見学を実施した。

この見学は、入隊予定者等に航空自衛隊の概要を理解してもらうことを目的としている。資料館は先日、来館者500万人を達成し、「行って良かった無料お出かけスポット」全国1位に選ばれているだけに見どころが満載であった。参加者は「凄く見ごたえのある資料館でした、特にエンジンのメカニズムを見学できたのが良かったです。航空機整備に興味がありました」「本日は楽しく過ごせました。航空自衛隊に入隊しても頑張ります」と決意を新たにしていた。

厚木募集案内所は、「今後も入隊予定者に対して、自衛隊の魅力を伝え入隊意欲の向上に努めていく」としている。

川崎市立菅中学校の「総合的な学習の時間」を支援

川崎市立菅中学校
「総合的な学習の時間」

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 上野3陸尉）は、8月28日（木）、29日（金）の2日間、海上自衛隊第2術科学校で実施した川崎市立菅中学校の「総合的な学習の時間」を支援した。

この学習には、中学生12名が参加し、基本教練、艦艇のディーゼルエンジン及びガスタービンエンジンの概要説明、防護マスクの使用要領、体験喫食などが行われ、「自衛隊に対し一層興味を持った」という生徒の声が聞かれた。

溝の口募集案内所は、「今後も積極的に総合的な学習の時間を支援していく」としている。